

第13回NIKS地域活性化大賞審査結果内容

賞	NO	本事業の名称又は総称	代表者	連絡先住所	内容
大賞	1	水球によるまちづくり「水球のまち柏崎」	ウォーターポロクラブ柏崎 GM 青柳 勸	〒945-1393 新潟県柏崎市軽井川4730 A06 ウォーターポロクラブ柏崎事務局	「競技をする環境が乏しい水球競技に、柏崎市の産学官民が連携をして地域全体で水球競技を支える体制を作ることで、水球競技の競技力向上を目指す。」これは柏崎市内近辺に大学を卒業した日本代表選手及び候補選手を集中的に集め、雇用の斡旋を行ない、仕事をしながら水球競技ができる環境を整備することで、実質365日に近いかたちで日本代表の練習を行うという試みです。今まで水球界ができなかった社会人の受け皿をつくり、選手層を厚くすることは、必ず水球競技力の向上につながると考えました。水球のように知名度の低いマイナースポーツには、協賛メリットが少ないとされていますが、日本代表クラスの選手が集まることで、日本代表に近い高いレベルのチームが結成できています。「日本一」のタイトルを獲得できることに期待がもて、そのことはまちにとってさまざまな波及効果を促し、まちを水球のメッカとして推進させることができると信じ、活動してい
優秀賞	2	寺子屋つばさ100km徒歩の旅	嘉瀬 一洋	〒955-0083 新潟県三条市荒町2-26-7 エフビーエムビル 3F	県央地域に住む小学4年生～6年生の子ども達が、真夏の暑い炎天下の下で4泊5日をかけて自らの足で100kmの道のりを歩き抜く体験事業です。参加した子ども達に「生きる力」を身につけてもらえるように、県内の大学生・専門学校生たちが4泊5日間を参加する子ども達と寝食を共にしつつ、励まし支えてゴールに導きます。社会人スタッフは本番に備えて学生スタッフに対して毎週末に開催する200時間に及ぶ研修を担当します。子ども達、学生スタッフ、社会人スタッフと三世代に渡る
優秀賞	3	高校生長岡ラーメン選手権	長岡商工会議所青年部 加藤 武	〒940-0065 新潟県長岡市坂之上2丁目1番地1 長岡商工会議所青年部	長岡商工会議所青年部未来活性化委員会は、今回で第5回を迎える「高校生長岡ラーメン選手権」の企画・運営に携わり、7月26日に「第5回高校生長岡ラーメン選手権」をアオーレ長岡で開催し来場者8000人を集め無事盛会に終える事ができました。これもひとえに、地域皆様方のご理解ご協力あつての事とおもっております。 私共が掲げている「ラーメン選手権」のモットーとは、単にラーメンを作り販売するイベントではなく、参加する高校生達の「起業家育成・就業観醸成」であり、しいては参加した高校生達がいずれは、地元長岡で起業し「自分達で造る長岡」を達成するきっかけ作りになればと毎回事業を行っております。
期待賞	4	まちなかアウトドア	代表世話人 木山 光	〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1	開港150周年(2019年)の新潟を考え新潟の将来ビジョンをつくり、実践していく市民委員会が2013年に設置されました。そして、「What's Niigata」といい問いかけを新潟市民に実施し、新潟のVISIONNを探すと取組を実施し、その結果「日本一の水辺を考える。」という将来VISIONNを考え、他都市には無い新潟らしいまちなか活性化を図る為、「まちなか」の河川空間(信濃川やすらぎ堤)に「アウトドア」空間を作り、様々な世代と広い地域の人たちが訪れ、飲食ゾーンとまちなか機能、自然体験を可能とする空間を日常生活に取り組みすることで、これからの新潟をつくっていく活動を実施しています。

第13回NIKS地域活性化大賞審査結果内容

賞	NO	本事業の名称又は総称	代表者	連絡先住所	内容
期待賞	5	地域を丸ごと活用した田舎暮らし体験	NPO法人風小僧 森田徳幸	〒946-0305 魚沼市大栃山183	地域の人口が減少し、耕作放棄地が増える中で、倒壊寸前の古民家(旧入広瀬村の歴史資料館)を譲り受けました。古民家は、ボランティアを募って改修し「体験交流施設 手ほどき館」として田舎暮らしの拠点にすると共に、耕作放棄地を利用して田植えや稲刈り体験、西洋かんじきを履いて雪山散策、米どころ、豪雪地帯ならではの楽しみなど、なかなか経験できない体験を提供することにより、都市部との交流人口の拡大に取り組んでいます。
期待賞	6	写真の町シバタプロジェクト実行委員会	赤松里美子	〒957-0056 新発田市大栄町1-1-1新発田額研究センター内	城下町から近代に栄えた新発田には写真草創期の貴重な写真資産が残っています。 古写真に限らず、こうした写真文化は現代にも受け継がれています。 「写真の町シバタ」は、この眠れる文化資産に着目したものです。 メイン企画の「まちの記憶」は、各家庭から提供を受けた写真をまち全体に展示し、文字通り市街に「まちの記憶」が立ち現れることを企図しています。スタッフが写真提供先を訪問し、写真にまつわる無名の物語も集められることができます。一連の対話と記憶共有の過程を通じて、参加者はまちへの誇りと愛着を取り戻し、それをコミュニティの活性化へ繋げることを目的と

第13回NIKS地域活性化大賞審査結果内容

賞	NO	本事業の名称又は総称	代表者	連絡先住所	内容
奨励賞	7	日本画研究団体「上門会」	浦上義昭	〒940-0856 長岡市美沢3-108-10	「上門会」とは、浦上氏が昭和62年にホテルニューオータニ長岡で主催した教室が元となっています。当時は、展覧会において県全体でも日本画の出品者は少ない状況でした。その後、この会の活動を通じ、新潟県のレベルがあがり、公募展の出品者数は年々増加しております。上門会の会員数も発足当時の6名から24名となり活発化しています。もともと美術は、余計なものでなく、生活や産業の底を形作る大切なものなのです。科学で言う基礎研究にあたります。私たちは、現在日本文化の基礎である日本画をさらに発展させることが、将来、県や日本国が、美しく力強く華ひらく「道」だと考えております。どうか、現在の状況を明るい方向に進める為に、ぜひ、皆様のお力をおかしいただければ幸いです。
	8	南魚沼サイクルフェスタ	実行委員長 関 聡	〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町106-1	南魚沼市が合併からしてから10年。市制10周年にあたり南魚沼市を活性化させる事業が様々な企画される中で、スポーツ振興による町の活性化と健康づくりを目指し(一社)雪国青年会議所として「南魚沼サイクルフェスタ」を開催いたしました。目標として、地域の皆様に生涯スポーツの魅力伝え、健康志向に導き、一生涯健康にイキイキと暮らしていただける市民の増加を目指すこととし、南魚沼市外の方にこの地域の魅力を知っていただき観光や移住を含め南魚沼市の発展につなげて行きたいと活動しています。
	9	たいやき風 スイーツの開発及び販売	聖籠町商工会青年部 栗原啓太	〒957-0117 北蒲原郡聖籠町諏訪山1640-2	我が聖籠町と言えば、新潟東港があり県内でも有数の工業地というイメージがありますが、少し山側に入るとそこには果物畑があり、果物栽培が盛んに行われています。その中でも聖籠町の特産品としてサクランボは生産量県内一を誇っております。ただし年間を通して販売できないため、商工会青年部では、年間を通して販売できる特産品を開発できないかという想いがありました。その想いを受け、サクランボに肩を並べられる認知度を持った特産品として、地元より良い素材と聖籠町のマスコットキャラクターである緑丸を使用し、町内外にも発進出来る特産品開発を行い、聖籠町の地域振興・活性化を図っています。
	10	ふれジョブ・ひまわり	長橋 幸雄	〒959-1362 新潟県加茂市横江11-5	ふれジョブとは、障害のある子もそうでない子と一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るという目的の活動です。10～18歳の障害のある子が、自宅と学校の往復だけではなく、地域の企業で、地域に暮らす人と一緒に、週1時間の就労体験を半年間継続し、また別の企業に行き、地域に暮らす別の人と、別の仕事を体験していきます。そして、月1回定例会を開き、その様子を報告するという活動です。そもそも倉敷を発祥とした活動であり、既に全国各地で活動が繰り広げられていた。この活動が地域の風景となれば、障害理解は深まっていき、ひいては、多様性を認めることのできる成熟した地域が創られていくものと考えています。また、燕三条という産業の集積地であるにもかかわらず、新潟県内では後発となっており、この地で活動をする意義もありました。

第13回NIKS地域活性化大賞審査員名簿

(敬称略)

氏名	職業	住所
佐藤 勝則	新潟日報社 企画事業部長（兼論説編集委員）	〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
中澤 吉博	新潟県総務管理部地域政策課長	〒950-8570 新潟県新潟市新光町4-1
亀井 克信	オリックス株式会社 取締役 グループ専務執行役員 兼 オリックス自動車株式会社 代表取締役社長	〒105-0014 東京都港区芝3-22-8
西條和佳子	NPO法人 WWA 常任理事	〒950-2004 新潟市西区平島1-16-5
上野 裕治	長岡造形大学 キャリアデザインセンター長教授	〒940-2108 長岡市千秋4丁目197番地
富山 栄子	事業創造大学院大学 地域・国際担当副学長・教授	〒950-0916新潟市中央区米山三丁目1番46号
佐藤 健之	(協)新潟県異業種交流センター 理事長	〒940-0065 長岡市坂之上町2-5-8